

2020年4月30日

富山県知事
氷見市長
高岡市長
砺波市長
南砺市長 殿

呉西地区交通まちづくり市民会議
会長 松本 久



新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急要望書

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3月25日に東京都が週末外出自粛を要請して以降、対応は次第に強化され、4月7日には国が7都府県を対象に緊急事態宣言を発出。さらに16日には、対象が全都道府県に拡大されました。不要不急の外出のほか、帰省や旅行など都道府県をまたいだ移動も自粛が求められており、東京都内などでは人の流れが9割近く減ったところもあります。

このため全国で、鉄軌道、バス、タクシーなど公共交通機関の利用が激減しています。これらの事業者は地域の重要なインフラであるにもかかわらず、特に地方においては脆弱な経営基盤しか持たない場合が多く、短期間で経営危機に陥ることが予想されます。貸切バスの利用減なども、深刻な打撃を与えています。

緊急事態宣言の期限は5月6日までとされていますが、現状では感染終息の見通しが立っておらず、さらに延長されることも予想されます。

万一、廃業などで公共交通サービスが提供されなくなった場合、車に頼ることのできない高齢者の買い物・通院、高校生の通学などの足が奪われ、地域に人が住み続けることすら難しくなります。他産業に比べ、影響は極めて大きいと言わざるを得ません。

地域の持続可能な交通のあり方を考え、啓発活動などを続けてきた当市民会議では、地域の交通事業者が安心してサービスを継続できるように、下記の通り、強く要望いたします。

記

1. JR 城端線、JR 氷見線、あいの風とやま鉄道、万葉線など鉄軌道各社のほか、路線バス事業の加越能バス、各タクシー会社などの交通事業者について、新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響調査
2. 前項調査に基づく実効性のある緊急経営支援策の実行

以上

呉西地区交通まちづくり市民会議

2018年、県西部の交通問題を考える6市民団体が構成団体となり設立。以下の協力団体の支援を受け、公開講座開催などの活動を行っている。(以下、順不同)

構成団体:路面電車と都市の未来を考える会・高岡(RACDA 高岡)、戸出地区未来創造異脳種会議「戸出によつといで」、呉西地区公共交通再生研究会、城端線砺波市利用促進実行委員会(城端線もりあげ隊)、ふるさと城端線応援団、南砺の城端線を活かす会

協力団体:城端・氷見線活性化推進協議会、富山大学都市デザイン学部都市政策支援ユニット、となみ野田園空間博物館推進協議会、JR西日本、JR氷見線応援委員会

協賛会員:2019年度 80人

事務局:呉西地区公共交通再生研究会
〒939-1306 富山県砺波市宮村38
TEL:090-6273-3195
<https://koutsukaigi.tonamino.info/>